

札幌市環境局環境都市推進部 発表

Press Release



1. 水と森と空気から考える、未来
2. エネルギーから考える、未来
3. ごみと資源から考える、未来
4. いのちから考える、未来

発表日 2024年6月21日

**「さっぽろ創世スクエア」 エネルギーの脱炭素化を実現
～カーボン・オフセットにより電力・熱由来のCO₂排出量を実質ゼロ化～**

札幌市所有の札幌市民交流プラザが複合されているさっぽろ創世スクエアにおいて、さっぽろ創世スクエア管理組合（理事長：天野 周治）と北海道ガス株式会社（社長：川村 智郷、本社：札幌市）および株式会社北海道熱供給公社（社長：近藤清隆、本社：札幌市）は、建物で使用する電力・熱について、カーボン・オフセットすることで合意しました。カーボン・オフセットした熱供給を実施するのは「北海道初」となります。

都心部では、「都心エネルギーマスタープラン・アクションプラン」に基づき、天然ガスコージェネを導入したエネルギーセンターの整備と冷水・温水の熱導管ネットワークの構築を進め、周辺の建物において低炭素な電力・熱を利用するとともに、再生可能エネルギーの導入拡大を進めています。

また、札幌市が2022年に採択された環境省の「脱炭素先行地域」の取組では、都心部民間施設において、省エネ・再エネ、エネルギーネットワークの整備・拡充、熱供給へのカーボンニュートラル天然ガス導入などにより脱炭素化を進め、積雪寒冷地におけるゼロカーボン都市のモデルを産学官で構築することを目指しています。

供給スキーム

本取組では、カーボンニュートラル天然ガスを用いて、創世エネルギーセンター（さっぽろ創世スクエア地下4階）の天然ガスコージェネレーションシステム（700kW×2台、以下：CGS）が建物内に電力を供給。同時に発生した発電排熱やボイラーで建物内への冷温熱供給を行います。また、CGSによる発電量では不足する電力は、非化石証書（再生可能エネルギー由来）を活用した電気によって補います。

一連のスキームを構築することで、さっぽろ創世スクエアで使用する電力・熱の全量について、CO₂排出量実質ゼロが実現されます。（CO₂排出削減量：約9,200トン/年）

対象施設

- ・さっぽろ創世スクエアビル

今後のスケジュール

- ・カーボン・オフセットした電力、熱は7月1日より利用を開始予定。

お問い合わせ

本件につきましては、下記担当までお問い合わせください。

- ・本取組みの内容に関すること
札幌市環境局環境都市推進部環境エネルギー課 樫山、稲辺
TEL 011-211-2872
- ・市民交流プラザに関すること
札幌市市民文化局文化事業調整担当課 手塚、村田
TEL 011-211-2261
- ・都心民間施設の脱炭素化に関すること
札幌市まちづくり政策局都心まちづくり推進室都心まちづくり課 滝上、高野
TEL 011-211-2692